

平成13年度
地方自治体(滋賀県、鳥取県)中南米地域
青年海外協力隊巡回指導調査団

日程:ニカラグア共和国

1月9日(水)～11日(土)

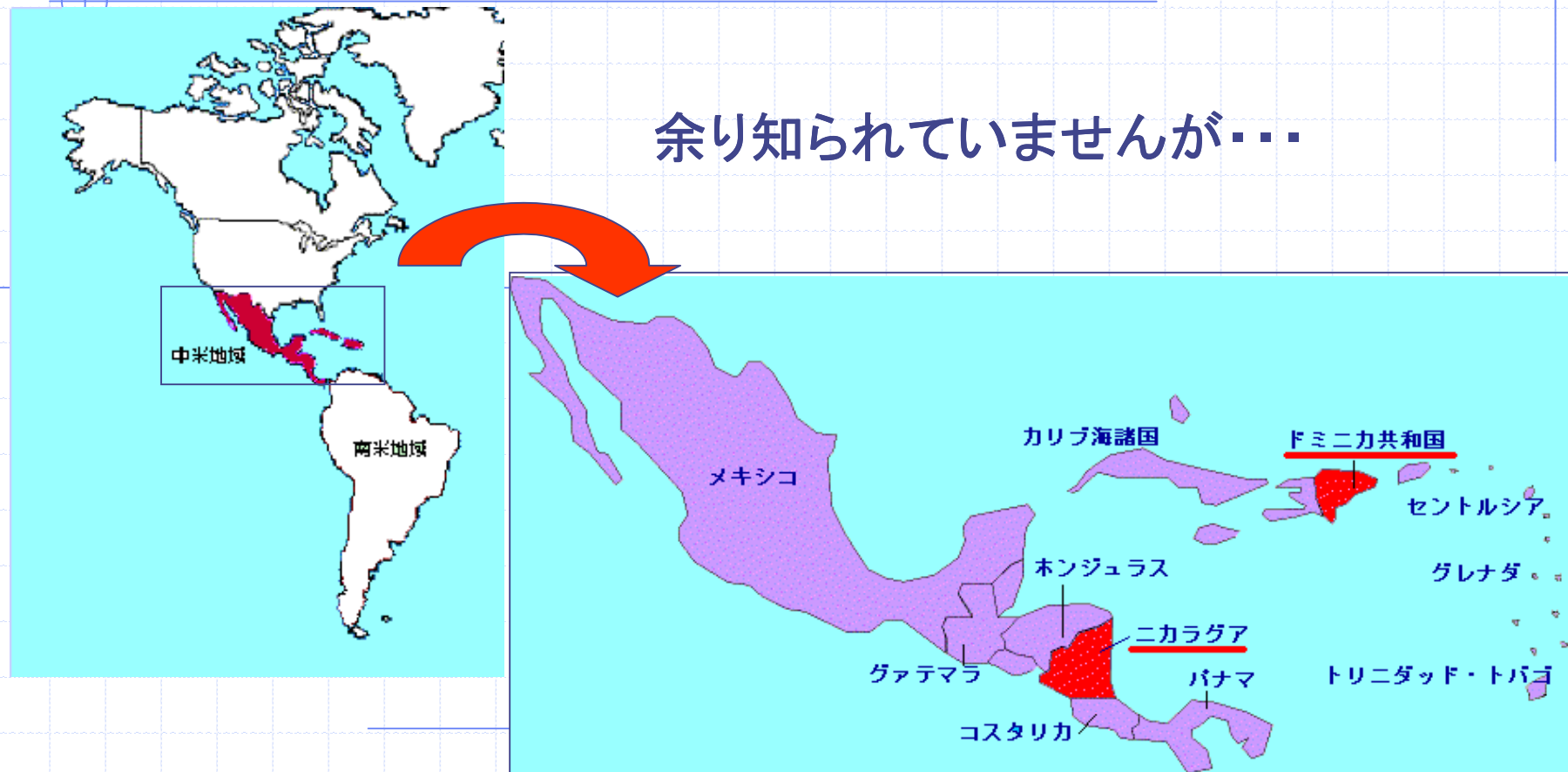
ドミニカ共和国

1月12日(日)～17日(木)

報告:調査団員

鳥取県生活環境部県民活動推進課 主事 足立千枝

Q. ニカラグア共和国、ドミニカ共和国って
どこにあるの???



A.実は中米にあるんです

ニカラグア共和国とドミニカ共和国の 基礎情報



ニカラグア共和国
(Republic of Nicaragua)



面積: 13万km² = 東北地方の約1.9倍
人口: 440万人
住民: メスチソ、スペイン系白人、アフリカ系黒人
首都: マナグア
その他: 1979年～1989年内戦
中南米の最貧国
98年ハリケーンミッチで被害



ドミニカ共和国
(Dominican Republic)



面積: 4万8734km² = 九州地方の約1.3倍
人口: 777万人
住民: ムラト、スペイン系白人、アフリカ系黒人
首都: サントドミンゴ
その他: 安定した政治経済状況
(1996年バラゲールの独裁政権が終わる)
1956年～日本の移民

実際に両国を訪問してみた感想

- ◆ 食べ物は豆とインディカ米
・・・そしてちょっとショッパイ
- ◆ フルーツはおいしい！
- ◆ 飲み物はとても甘い！！
- ◆ アメリカ合衆国の力を感じる
- ◆ 明確な貧富の差が存在する
- ◆ 1月は日本の初夏の暑さ



ニカラグア共和国の青年海外協力隊活動

協力隊派遣開始: 1991年

派遣実績: 240名(男116、女124)

首都に4割、地方に6割

1月1日現在: 59名(男27、女32名)

＜部門別＞()内実績

- | | |
|---------------------------|----------|
| ①教育・文化部門: システムエンジニア、青少年活動 | 28名(90名) |
| ②保健衛生部門: 看護婦、助産婦 | 5名(36名) |
| ③農林水産部門: 村落開発普及員 | 14名(54名) |
| ④土木建築部門: 都市計画 | 1名(18名) |
| ⑤スポーツ部門: | 7名(18名) |
| ⑥保守操作部門: | 4名(22名) |
| ⑦加工部門: | 0名(2名) |

ニカラグアの協力隊員さんご訪問



宮澤隊員
(家政／滋賀県)



奥村隊員
(村落開発普及員／滋賀県)



船木隊員
(養護／鳥取県)



ニカラグア隊員の活動内容

- ◆ 船木良彦（養護、鳥取県）：バハリート・アスル児童養護施設
 - 施設職員への指導・助言
 - ・児童への生活の基本的部分（食事マナーの改善など）の指導
 - ・職場状況の改善＝朝礼の実施、指導部会の実施等
- ◆ 奥村浩延（村落開発普及員、滋賀県）：NGO団体アデフカ
 - ①日本の「見返り資金」を利用し、小規模企業家に資金提供
 - ②融資先への経営・経理指導
 - ③融資先への基本的貸出制度等の説明
 - ④外務省対外経済協力局への働きかけ
- ◆ 宮澤亜希美（家政、滋賀県）：家族省チナンテガ支所
 - ①リモナール村での活動
 - 簡易給食所（地元の村長宅）での給食提供と調理・栄養改善指導
 - ②サン・ホセ孤児院での活動
 - 女児の孤児院での給食指導
 - ③家族省内での活動
 - 大豆を材料とした菓子作り、販売、地域への栄養改善指導

ドミニカ共和国の青年海外協力隊活動

協力隊派遣開始: 1985年

派遣隊員実績: 315名(男162、女153)

平成13年12月1日現在: 36名(男15、女21名)

<部門別>

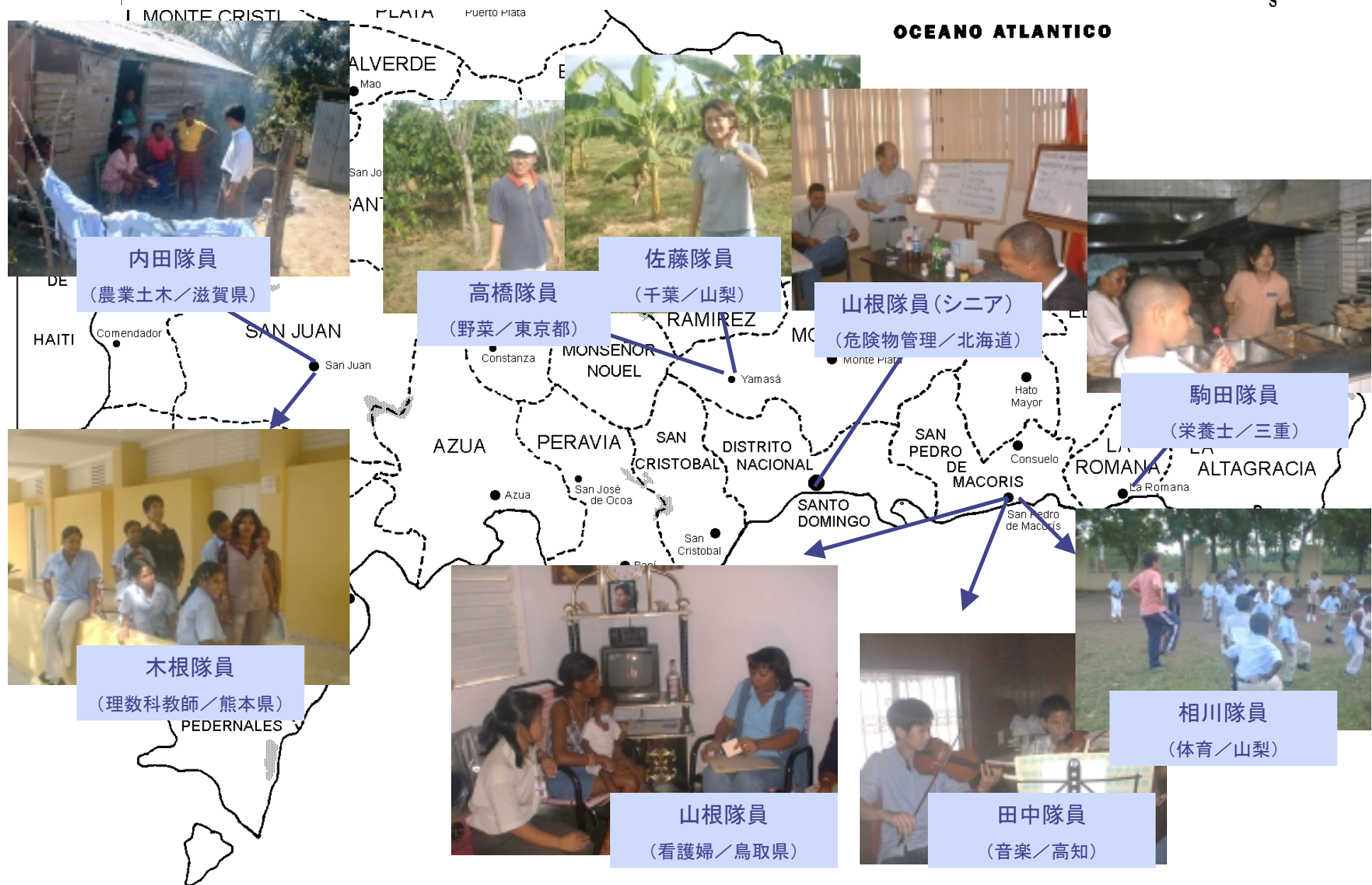
①保健衛生部門	11名(30.6%)
②教育文化部門	9名(25.0%)
③農林水産部門	9名(25.0%)

その他、保守操作、スポーツなど

◎NGOへの派遣が多い

◎プロジェクト方式技術協力

ドミニカ共和国協力隊員さんご訪問



ドミニカ共和国隊員の活動内容1

- ◆ 高橋果奈子（野菜、東京都）：農地庁シタ・フ°リエ展示農場
 - ①野菜栽培巡回指導 ②堆肥作り＝各家庭に無償提供
 - ③栄養改善指導
- ◆ 佐藤真江（村落開発普及員、千葉）：農地庁シタ・フ°リエ展示農場
 - ①女性対象の生活改善指導 ②料理用かまど作り
 - ③パン焼用かまど作り＝共同かまど、現金収入による生活改善
 - ④女性への貯金指導＝貯蓄の重要性、料理用かまどの資金確保
 - ⑤近隣小学校での遊具提供
- ◆ 大原 寛（バレーボール・滋賀県）：体育省ドミニカバレーボール連盟
 - ナショナルチームのジュニアユース女子チーム等の指導
 - 練習の計画・立案・プログラム、世界大会に向け強化練習
- ◆ 内田直誠（農業土木、滋賀県） **水利サツファン地域灌漑事務所**
 - ①ダムからの水路調査およびリハビリ（簡単な修理）
 - ②水利権争いの監視
 - ③ダムからの放水量・放水割当日等の話し合いへの参加
 - ④水不足解消へのアドバイス（溜め池、夜間の水調整など）

ドミニカ共和国隊員の活動内容2

- ◆ 木根主税（理数科教師、熊本県）：**ウラニア・モンタス教員養成学校**
1年間で初等教育学校、教員養成学校及び教育事務所での理科教育と数学教育の実態を把握
 - ①理科教育については、養成学校の学生に観察・実験の実習を行い、さらにはそれを用いた教授法の指導を行う
 - ②数学については、教授法以前の問題で基礎となる学力が低いので、養成学校の学生に対して、初等教育における数学教育の内容の理解を目指す
- ◆ 山根美智子（看護婦、鳥取県出身）：厚生省サ・ペ・デ・ロ・デ・マリス県事務所等
午前中は県事務所、午後は診療所で看護婦への指導・助言を行っている
 - ①地域内の各家庭健康状況調査に同行
 - ②5種混合ワクチンの予防接種に関する講習会の手伝い
 - ③性教育・エイズの予防啓発
- ◆ 駒田亜衣（栄養士、三重県）：**東部福祉慈善団体子どもの家**
 - ①給食管理＝カウンターパートと交代で一週間の献立を立て、発注を行う
新メニューの作成、1000食以上×3回の調理、配膳
 - ②栄養指導＝診療室や厨房に栄養に関する資料の掲示を行う
 - ③衛生、安全管理

ドミニカ共和国隊員の活動内容3

- ◆ 相川久美（体育、山梨県）：教育省5-6地域事務所
1月から各学校を巡回指導していき、現在の学校では1日8時間の授業を行っている。が短なわとび、リズムダンスを取り入れた授業を試みてる。
 - ①全員参加型の授業を目指す
 - ②ドミニカ共和国では「体育＝遊び」という考え方があるので現地体育教師に協力しながら、遊びでない体育の授業を行っていく
 - ③体育教師の研修会で短なわとびを紹介し各学校で取り入れてもらう
- ◆ 田中拓生（音楽、高知県）：教育省5-6地域事務所
 - ①バイオリンの指導
 - ・バイオリン教室、コンサートの開催
 - ・バテイ（サトウキビ畑で働く労働者たちの集落）での巡回演奏会
 - ②ブラスバンドへの参加
 - ③地域の音楽活動への参加
- ◆ 山根藤壽（危険物管理 北海道 シニアボランティア）：危機管理庁
 - ①月一回の危険物に関する講義
 - ②緊急自体発生に備え待機

青年海外協力隊員の活動を視察して

- ◆ 問題を改善していくのには長い時間がかかるだろうと考えられる活動が多く見られた
それに対し、協力隊員は根気強く地道に活動していた
- ◆ 協力隊員は現地の人との考え方の違いで悩み、そこから自分なりの活動を考え、自分のできることを探し、実践していった、現地の人とともに頑張って活動していた
- ◆ 2年間をどう過ごすのかは本人次第

その他青年海外協力隊員の生活について

- ◆ 2年間の生活について、ニカラグアとドミニカ共和国ではほとんどが現地の人の家へホームステイをしていた
山間部、農村部を除き、一定水準の家へホームステイするため、さほど不自由はしていないようだった
現地料理はほとんど野菜を使わないため、自炊する隊員もいる
- ◆ 気候は雨季と乾季があり、年中暑く、生活は厳しい
ドミニカ共和国では乾季には水不足になるため、苦労しているらしい
- ◆ 感染症の病気にかかりやすいため、隊員は体調には気をつけている